



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所 東

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,948	14.3	142	15.7	145	16.5	94	11.3
2023年3月期第1四半期	1,704	68.7	122	64.1	124	68.5	106	126.1

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 91百万円 (12.9%) 2023年3月期第1四半期 104百万円 (122.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	10.78	
2023年3月期第1四半期	12.16	

(注)当社は、2023年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	4,358	2,855	65.0	323.96
2023年3月期	4,696	2,886	61.0	327.37

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 2,834百万円 2023年3月期 2,864百万円

(注)当社は、2023年4月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		60.00	60.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2022年4月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で、また2023年4月1日を効力発生日として、1株につき4株の割合で株式分割を行っております。年間配当金の表記につきましては、2022年3月期と2023年3月期は分割前の1株当たり配当金を、2024年3月期(予想)は分割後の1株当たり配当金を記載しております。

なお、2022年以降2回の株式分割を考慮しない場合の2023年3月期と2024年3月期(予想)の1株当たり配当金は、期末120円となり、年間配当金は120円となります。

3. 2024年 3月期の連結業績予想(2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,677	7.3	280	18.6	281	23.9	177	3.0	20.23
通期	8,053	8.5	680	33.6	682	34.2	455	27.9	52.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割後の株式数により、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	9,094,832 株	2023年3月期	9,094,832 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	345,748 株	2023年3月期	345,748 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	8,749,084 株	2023年3月期1Q	8,749,159 株

(注)当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
(1) 仕入及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における国内及び海外経済は新型コロナウイルス感染症拡大への警戒が続くも、行動制限緩和も進みました。また最近のインフレ傾向や日用品・消費財における供給ひっ迫は、リユース市場でのニーズの高まりも生じました。

この様にリユース業の市場環境は概ね堅調ではあるものの、個別のジャンル毎に好不調のサイクルに偏りがあり、またインフレ傾向による買取状況の動向判断等、好調な市場環境の継続については予断できない状況にあります。

当社グループはこのような外部環境に対応し、前連結会計年度に引き続き成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的に進めるとともに、リユース市場でのニーズの高まりに応える事で、収益の改善に努めてまいりました。

具体的には、コア事業の成長・スピノフ事業の成長・海外事業の成長を通じたオーガニックな成長及び前連結会計年度に本格化したインオーガニック面での事業成長を進めました。

営業政策面では、前連結会計年度に引き続き、ネット通販の強化、専門ジャンル強化、高粗利率ジャンル強化による粗利率改善等を進めました。店舗政策面では、2023年6月に、「ワットマンテック・スタイル本厚木店」をオープンいたしました。また、ワットマンタイランドにおいてwarehouse(倉庫)型店舗への集約を進め、2023年2月にWATTMAN Sai3店をオープンし、当第1四半期末時点でタイ王国内の全4店舗すべてwarehouse型となりました。更に、前第1四半期以降、リユース事業セグメントを全社グローバルの観点で効率化するため、グループ企業の物流管理/在庫管理の見直しと改善活動をすすめました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年と比べ2億44百万円(14.3%)増収の19億48百万円となりました。これは既存事業売上が主にホビーサーチ社の伸長により前年同期と比べ2億23百万円(13.8%)増収の18億45百万円、および新規/撤退事業売上が20百万円(25.0%)増収により1億3百万円となったことによります。

オーガニック事業における商品カテゴリー別売上高は、電化製品等が前年と比べ2百万円(1.1%)増収の2億10百万円、服飾等が16百万円(4.7%)増収の3億59百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が2百万円(1.4%)減収の209百万円、ホビーが47百万円(28.0%)増収の2億14百万円、その他は18百万円(10.5%)増収の1億91百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上高は、ホビーが前年と比べ1億63百万円(27.3%)増収の7億63百万円となりました。

売上総利益は、売上増収に伴い前年と比べ64百万円(7.8%)増益の8億91百万円、売上総利益率45.8%となりました。既存事業は52百万円(20.4%)増益の7億81百万円、新規/撤退事業は12百万円(26.3%)増益の46百万円となりました。

オーガニック事業における商品カテゴリー別の売上総利益については、電化製品等が前年と比べ7百万円(5.4%)増益の1億42百万円、服飾等が20百万円(9.7%)増益の2億26百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が2百万円(1.6%)減益の1億37百万円、ホビーが11百万円(14.7%)増益の91百万円、その他は3百万円(2.5%)増益の1億43百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上総利益は、ホビーが前年と比べ23百万円(19.0%)増益の1億49百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、上記新店初期費用等により前年と比べ44百万円(6.4%)増加し7億49百万円となりました。既存事業では44百万円(7.1%)増加し6億73百万円、新規/撤退事業では0.4百万円(0.6%)増加の75百万円となりました。

上記の結果、ワットマンテック・スタイル本厚木店、及びWATTMAN Sai3店の新店初期費用等により、営業利益は、前年と比べ19百万円(15.7%)増益にとどまり1億42百万円となりました。既存事業は34百万円(27.4%)増益の営業利益1億59百万円、新規/撤退事業は15百万円減益の営業損失17百万円となりました。経常利益は前年同期と比べて20百万円(16.5%)増益の1億45百万円となりました。

経常利益以下については、前年に平塚梅屋事業所立退等に伴う受取補償金44百万円の計上された反動で、税金等調整前四半期純利益が前年と比べ16百万円(10.6%)減益の1億47百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は12百万円(11.3%)減益の94百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リユース事業

リユース事業セグメントにおいてはタイ王国と国内の新店開店と既存店増収により、外部顧客への売上高は前年に

比べ80百万円増収の11億85百万円(前年比107.3%)、セグメント利益は売上増加により前年に比べ5百万円増益の1億75百万円(前年比103.1%)となりました。

②新品EC事業

新品EC事業においては外部顧客への売上高は前年に比べ1億63百万円増収の7億63百万円(前年比127.3%)、セグメント利益は前年に比べ21百万円増益の56百万円(前年比160.4%)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間から当社内にグループ統括本部を設置しグループ全社の管理活動等の間接業務の集中化、事業活動の全社的最適化等の活動を行っております。それに伴い従来リユースセグメント費用の一部に含まれていた、当該活動に伴う費用を全社費用として報告セグメントからその他に区分を変更しております。詳細はセグメント情報等をご参照ください。

なお、上記記述においては2022年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存事業、その他事業所を新規/撤退事業としております。これに伴い当第1四半期連結会計期間よりホビーサーチ社は既存事業に区分されます。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、29億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2百万円減少しております。

これは、現金及び預金が3億82百万円、売掛金が67百万円減少したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、14億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加しております。

これは、有形固定資産が74百万円増加したこと等が主な要因であります。

この結果、総資産は43億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億38百万円の減少となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、10億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8百万円減少しております。

これは、買掛金が1億22百万円、未払法人税等が74百万円、契約負債が78百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は4億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加しております。

これは、長期借入金が26百万円減少した一方、新店開店に伴う資産除去債務が27百万円増加したこと等が主な要因であります。

この結果、負債合計は15億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6百万円の減少となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、28億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少しております。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が94百万円計上されたこと、配当金が1億31百万円あったことにより利益剰余金が36百万円減少したこと等が主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が65.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,811,915	1,429,567
売掛金	293,508	226,118
商品	1,048,032	1,064,968
その他	166,921	197,043
流動資産合計	3,320,377	2,917,697
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	122,967	173,931
土地	382,457	382,457
その他	38,231	61,584
有形固定資産合計	543,656	617,972
無形固定資産		
のれん	246,630	239,377
その他	11,325	11,134
無形固定資産合計	257,955	250,511
投資その他の資産		
投資有価証券	2,002	2,068
敷金及び保証金	413,450	412,455
その他	159,487	158,079
投資その他の資産合計	574,941	572,604
固定資産合計	1,376,553	1,441,088
資産合計	4,696,930	4,358,786
負債の部		
流動負債		
買掛金	350,009	227,471
短期借入金	76,000	78,200
1年内返済予定の長期借入金	120,026	111,189
未払法人税等	137,917	63,082
賞与引当金	35,649	17,277
契約負債	202,714	123,958
その他	400,940	393,527
流動負債合計	1,323,256	1,014,708
固定負債		
長期借入金	434,272	408,147
退職給付に係る負債	40,459	42,010
資産除去債務	-	27,197
その他	12,065	11,180
固定負債合計	486,796	488,534
負債合計	1,810,053	1,503,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,415,414	1,423,922
利益剰余金	1,147,413	1,110,541
自己株式	△101,468	△101,468
株主資本合計	2,961,359	2,932,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574	621
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	△1,978	△3,456
その他の包括利益累計額合計	△97,129	△98,561
非支配株主持分	22,647	21,108
純資産合計	2,886,876	2,855,542
負債純資産合計	4,696,930	4,358,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,704,436	1,948,600
売上原価	877,119	1,057,112
売上総利益	827,316	891,488
販売費及び一般管理費	704,476	749,363
営業利益	122,840	142,124
営業外収益		
受取利息	118	0
受取配当金	58	25
受取手数料	2,183	2,334
為替差益	1,002	1,271
その他	1,047	994
営業外収益合計	4,409	4,627
営業外費用		
支払利息	1,082	1,249
長期前払費用償却	1,094	-
その他	241	54
営業外費用合計	2,417	1,303
経常利益	124,832	145,448
特別利益		
保険差益	-	36
受取補償金	44,963	-
固定資産売却益	-	2,867
特別利益合計	44,963	2,903
特別損失		
投資有価証券売却損	49	-
固定資産除却損	2,300	1,165
店舗閉鎖損失	3,915	-
特別損失合計	6,265	1,165
税金等調整前四半期純利益	163,530	147,186
法人税等	57,110	52,821
四半期純利益	106,420	94,364
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,420	94,364

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	106,420	94,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157	46
為替換算調整勘定	△1,660	△3,017
その他の包括利益合計	△1,503	△2,971
四半期包括利益	104,916	91,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,763	92,932
非支配株主に係る四半期包括利益	△847	△1,538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,104,811	599,624	1,704,436	—	1,704,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,104,811	599,624	1,704,436	—	1,704,436
セグメント利益	170,700	35,127	205,827	△82,987	122,840

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	205,827
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△82,987
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	122,840

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

前第3四半期連結累計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「リユース事業」単一セグメントから、「リユース事業」「新品EC事業」に変更しております。

(報告セグメントに属する主要な製品及びサービス)

「リユース事業」セグメントに区分される事業は、従前同様にリユース商品中心の国内2都県およびタイ王国の店舗販売及びネット販売事業です。

「新品EC事業」セグメントに区分される事業は、新品商品中心の自社ECサイト販売事業です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,185,478	763,122	1,948,600	—	1,948,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,185,478	763,122	1,948,600	—	1,948,600
セグメント利益	175,914	56,297	232,211	△90,129	142,082

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	232,211
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	42
全社費用(注)	△90,129
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	142,124

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結累計期間より、当社内に「グループ統括本部」を設置し管理活動等の間接業務の集中化、事業活動の全社的最適化等の活動を行っております。それに伴い事業セグメントの区分方法を見直し、従来リユースセグメント費用の一部に含まれていた、当該活動に伴う費用を全社費用として報告セグメントからその他に区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

また、従来の「リユース事業」「新品EC事業」セグメントに属する主要な製品及びサービスに変更はありません。

(収益認識関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	430,156	—	—	430,156
ワットマンテック業態	245,984	—	—	245,984
ブックオフ業態	212,929	—	—	212,929
ホビー関連業態	116,959	599,624	—	716,584
カウマン業態	17,902	—	—	17,902
Warehouse Store(タイ)	37,104	—	—	37,104
その他	43,775	—	—	43,775
顧客との契約から生じる収益	1,104,811	599,624	—	1,704,436
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,104,811	599,624	—	1,704,436

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	452,015	—	—	452,015
ワットマンテック業態	255,291	—	—	255,291
ブックオフ業態	229,717	—	—	229,717
ホビー関連業態	134,741	763,122	—	897,863
カウマン業態	16,875	—	—	16,875
Warehouse Store(タイ)	41,591	—	—	41,591
その他	55,245	—	—	55,245
顧客との契約から生じる収益	1,185,478	763,122	—	1,948,600
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,185,478	763,122	—	1,948,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	77,161	15.7	111.0
	服飾等	136,219	27.6	92.9
	パッケージメディア	74,773	15.2	98.4
	ホビー	163,099	33.1	149.4
	その他	41,584	8.4	108.9
合計		492,838	100.0	112.1
ホビーサーチ	ホビー	580,485	100.0	122.1
合計		580,485	100.0	122.1
総合計		1,073,324	—	117.3

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	210,793	17.8	101.1
	服飾等	359,451	30.3	104.7
	パッケージメディア	209,122	17.6	98.6
	ホビー	214,943	18.2	128.0
	その他	191,166	16.1	110.5
合計		1,185,478	100.0	127.3
ホビーサーチ	ホビー	763,122	100.0	127.3
合計		763,122	100.0	127.3
総合計		1,948,600	—	114.3

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。